

情報公開文書

「食道癌手術における摂食嚥下機能に関する研究」

ver1.1 (2025 年 5 月 22 日)

1. 研究の対象となる方

2020 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に、千葉県がんセンターで食道癌の手術を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

食道がんの手術では他の手術に比べ飲食できない期間が長いことが多いです。飲食は舌を含めた飲み込みに関係する筋肉の運動です。もし長い期間飲食しないとそれらの筋肉が低下する可能性があります、まだ十分にわかっていません。そこで今回は食道がん手術をうけた患者さんの診療録から、手術前後に測定した舌圧を中心に、手術方法や手術時年齢、性別、体重、経口摂取量などの情報を収集しこれら項目の関連性について調査します。この調査によって、手術時の舌圧が低下しやすいタイプを探しだし、がん手術時の飲み込みのリハビリテーションで適切な訓練方法などを見出します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、当院診療録から診療情報を収集します。試料は用いません。収集する診療情報は、舌圧を含めた口腔機能検査、手術方法、年齢、性別、体重、食事量、転帰等です。収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。研究責任者は高橋直樹（NST:栄養サポートチーム）、研究分担者は金塚浩子、菊池夏希、前田恵理、石橋裕子、佐藤幸子、白戸由香子、降旗麻子、廣部開、大竹慶堯、杉崎由佳子、菅野ゆみか、村杉智裕、櫻井美夏子、加野将之、桑山直樹、鍋谷圭宏、相澤凧人です。

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者管理の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究には研究費は利用しません。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。

利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承

いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者：千葉県がんセンター NST（栄養サポートチーム） 高橋直樹

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL： 043-264-5431（代表番号）